

エコアクション21

2021 年度 環境経営レポート

対象期間：2021年1月1日～12月31日

株式会社コスモ・サイエンス

〒254-0014 神奈川県平塚市四之宮7丁目3番10号

TEL 0463-51-2031

FAX 0463-51-2034

<http://www.cosmo-science.co.jp/>

E-mail: info@cosmo-science.co.jp

発行：2022年4月7日

— 会社概要 —

- (1) 名称
株式会社コスモ・サイエンス
- (2) 所在地
〒254-0014 神奈川県平塚市四之宮7丁目3番10号
- (3) 代表者
代表取締役 松尾 昭憲
- (4) 環境管理責任者
品質保証室 室長 竹内 祥史
TEL 0463-51-2031
FAX 0463-51-2034
- (5) 事業内容
真空及び一般装置設計・製作、真空及び一般装置受託製造、真空及び一般装置修理・改造・移設、各種配管設計・施工、部品加工・販売
- (6) 事業規模等
 - 1) 資本金：1,000万円
 - 2) 売上高：9億92百万円（2020年7月～2021年6月）
 - 3) 従業員：65名（対象範囲）2021年12月末現在

（対象範囲は本社とする。製造部裾野事業所は顧客の工場に常駐し、同工場はISO-14001認証を取得しその指導下で活動をしている為、EA21登録範囲から除く。）

 - 4) 敷地面積：3,710m²
 - 5) 延床面積：2,576m²
 - 6) 事業年度：7月～翌年度6月
 - 7) 実施及び運用期間：2021年1月～2021年12月

— 環境経営方針 —

株式会社 コスモ・サイエンスは、真空装置を主とした
製品・サービスの提供を通して社会に貢献するとともに
地球環境保全に配慮し
全社を挙げて継続的に環境負荷の低減に取り組みます

1. 当社の事業活動に関わる環境影響を把握し、環境負荷の低減に努めます。
2. 環境関連の法規制、条例及び要求事項を遵守します。
3. 環境経営方針を全従業員に周知・徹底します。
4. 環境経営レポートを作成し、公表します。

2021年7月1日制定
株式会社 コスモ・サイエンス

代表取締役 

— 環境負荷の状況 —

項目	2010年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
電力	464.11 千 kWh	612,4 千 kWh	585,7 千 kWh	488,9 千 kWh	502,3 千 kWh
CO2 総排出量	データなし	299,253kg	264,919kg	221,363kg	266,021kg
産業廃棄物	データなし	21,661kg	12,965kg	14,422kg	12070.0 kg
一般廃棄物	データなし	13,846kg	7,657kg	6,470kg	8,012kg
水道	335 m ³	687 m ³	641 m ³	638 m ³	515.8 m ³
化学物質					
	ジクロロメタン	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg
	IPA	252 kg	224 kg	266 kg	210 kg
					42 kg

— 環境経営目標 —

2021年7月1日

取組項目	基準年	年次目標		
	【2010～11年度】 2010年7月 ～ 2011年6月	【2021年度】 2021年1月 ～ 2021年12月	【2022年度】 2022年1月 ～ 2022年12月	【2023年度】 2023年1月 ～ 2023年12月
(1) 二酸化炭素排出量の削減				
1) 電力使用量の削減	基準年度実績 464.113 kWh	基準年度同月比 11 %削減 売上高比	基準年度同月比 12 %削減 売上高比	基準年度比 13 %削減 売上高比
2) ガソリン使用量の削減	基準年度実績 7,741 ㍓	基準年度同月比 11 %削減 売上高比	基準年度同月比 12 %削減 売上高比	基準年度比 13 %削減 売上高比
3) 軽油使用量の削減	基準年度実績 1,231 ㍓	基準年度同月比 11 %削減 売上高比	基準年度比 12 %削減 売上高比	基準年度比 13 %削減 売上高比
(2) 廃棄物排出量の適切な管理及び抑制・削減 (目標設定)				
1) 段ボール	2014年基準設定 2,640 kg	基準年度比 8 %削減 売上高比	基準年度比 9 %削減 売上高比	基準年度比 10 %削減 売上高比
2) 雑誌・本類など	2014年基準設定 1,800 kg	基準年度比 8 %削減 売上高比	基準年度比 9 %削減 売上高比	基準年度比 10 %削減 売上高比
3) 燃やせるゴミ	2014年基準設定 2400 kg	基準年度比 8 %削減 売上高比	基準年度比 9 %削減 売上高比	基準年度比 10 %削減 売上高比
4) 産業廃棄物	2020年基準値見直 22,118kg	基準年度比 3 %削減 売上高比	基準年度比 4 %削減 売上高比	基準年度比 5 %削減 売上高比
(3) コピー用紙使用量の適切な管理及び抑制・削減				
コピー用紙購入量の削減	2014年基準値見直 240,000 枚 (A4 換算)	基準年度同月比 11 %削減 売上高比	基準年度同月比 12 %削減 売上高比	基準年度同月比 13 %削減 売上高比
(4) 水道使用量の適切な管理及び抑制・削減				
水道使用量の抑制・削減	2014年基準値設定 600 m ³	基準年度比 8 %削減 売上高比	基準年度比 9 %削減 売上高比	基準年度比 10 %削減 売上高比
(5) グリーン購入の推進				
事務用品についてグリーン商品購入金額比率を高める (代替品有り品目対象)		グリーン比率 97 %	グリーン比率 98 %	グリーン比率 99 %
(6) 有害化学物質の使用量「0」				
(7) 製品・サービス (環境負荷の少ない梱包推進、使用量の削減)				
梱包材使用量の削減	2014年基準値設定 7,200 kg	基準年度比 8 %削減 売上高比	基準年度比 9 %削減 売上高比	基準年度比 10 %削減 売上高比

— 環境経営計画 —

(1) 二酸化炭素排出量の削減

1) 購入電力の抑制

- ・ピークデマンドモニタリング機器（2器）の活用により節電に努める。
- ・空調の適温化（冷房 28℃、暖房 20℃を目処に）に努める。
- ・空調を必要な区域、時間に応じて調整する。
- ・照明の適正化、昼光の利用、スイッチの適正管理を進める。

2) 自動車燃料の使用量の節約及び燃費の改善（エコドライブの推進）

- ・ふんわりアクセル
- ・加減速の少ない運転
- ・早めのアクセルオフ

(2) 廃棄物排出量の適切な管理及び削減

1) 廃棄物分別の徹底と計量の実施

- ・一般廃棄物の適切な管理。
- ・産業廃棄物の適切な管理。

2) コピー用紙購入量の削減

- ・裏紙を積極的に利用する。
- ・両面コピーを活用する。
- ・電子化を推進する。

(3) 水道使用量の把握

- ・使用量を把握し、異常値などの早期確認と節水の推進をする。

(4) グリーン購入の推進

- ・事務用品についてグリーン商品購入金額比率を高める。

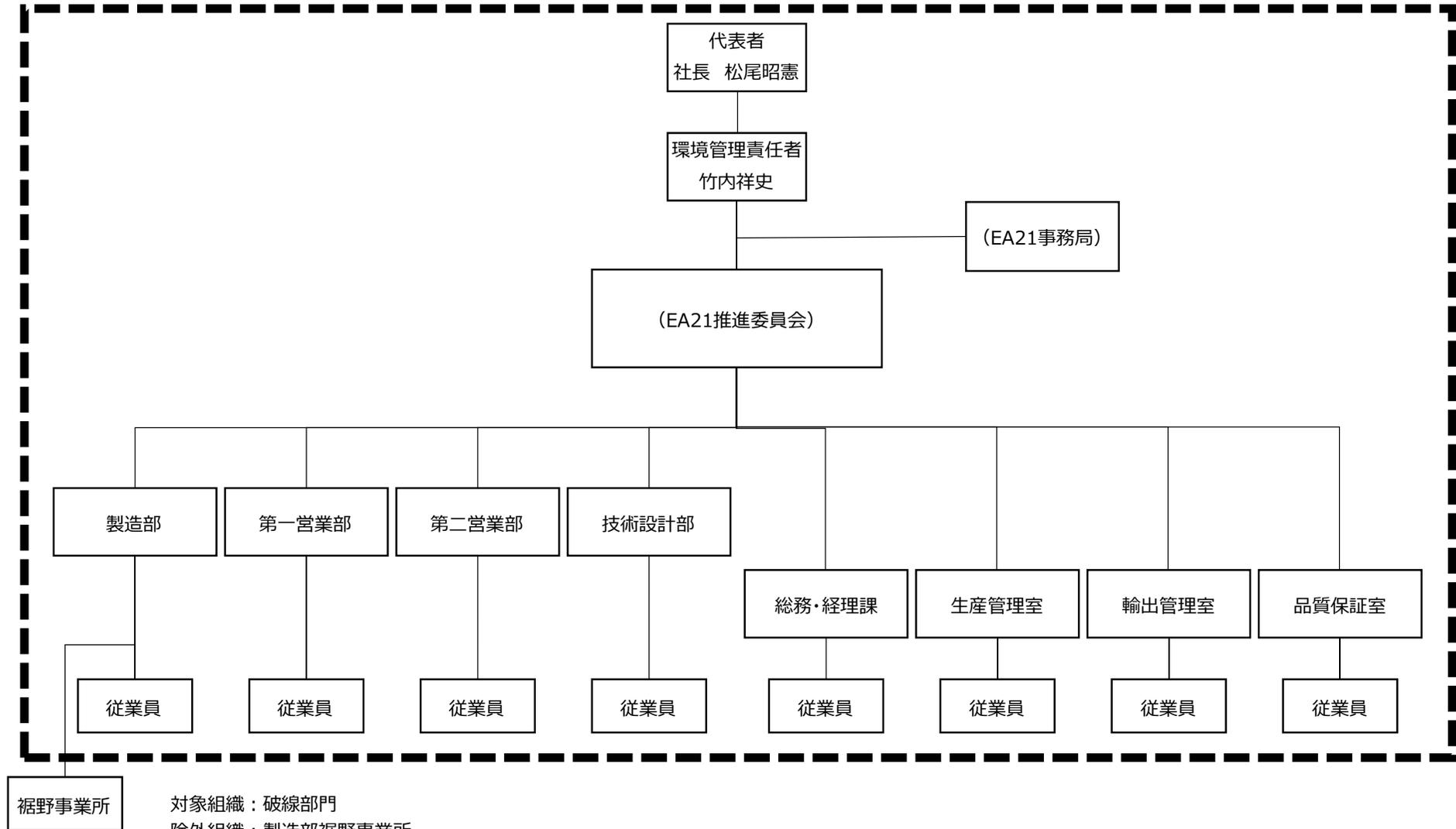
(5) 化学物質の適切な管理及び使用量の抑制

- ・化学物質の適切な管理を実行する。
- ・有害化学物質使用量の抑制を行う。

(6) 環境負荷の少ない梱包の実施

- ・発注量をモニタリングして、使用量の抑制を推進する。

—環境経営システム組織図—



対象組織：破線部門

除外組織：製造部裾野事業所

製造部裾野事業所は、ISO14001の認証取得済みの顧客工場に常駐し、顧客の指揮下で活動をしているため、本活動範囲から除く。

— 環境経営システム 役割・責任・権限表 —

	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
EA21 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・EA21 推進委員会の事務局 ・環境活動の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開 (社外向けホームページへの掲載と地域事務局への送付)
EA21 推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

— 2021年1月～12月の環境経営目標と実績とその評価 —

1. 二酸化炭素排出量の削減

1) 目標：電力使用量(kWh)の削減 基準年度比11%削減

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
基準年度値	41319	44139	35099	35622	29660	28752	47784	47976	41146	41625	33974	37017	464113
目標値	36774	39284	31238	31704	26397	25589	42528	42699	36620	37046	30237	32945	413061
原単位実績値	36372	46787	28781	31635	33256	22345	24202	19887	17950	20464	17443	22259	321382
目標値比(累計)	-1%	9%	4%	3%	7%	4%	-4%	-12%	-16%	-19%	-21%	-22%	-22%
結果	○	X	X	X	X	X	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	(冬季) ・エアコン設定温度 20℃ ・照明、適切な on-off			・照明、適切な on-off			(夏季) ・エアコン設定温度 28℃(事務所) 25℃(事務所以外) ・照明、適切な on-off ・遮光遮熱シート取付 (2階事務所) ・ビークレマント管理			(冬季) ・エアコン設定温度 20℃ ・照明、適切な on-off ・ビークレマント管理			
評価	前半は累積で目標未達となっているが、6月に省エネタイプのチラー交換した効果もあり、後半は単月・累積共に目標達成した。												

2) 目標：ガソリン使用量(リットル)の削減 基準年度比11%削減 (近距離・遠距離の区分廃止)

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
基準年度値	529	669	776	573	583	566	584	614	738	521	713	876	7,742
目標値	314	397	460	340	347	336	347	364	438	309	423	520	4594
原単位実績値	131	299	123	211	84	94	104	97	135	180	163	149	1770
目標値比(累計)	-58%	-40%	-53%	-49%	-54%	-57%	-59%	-61%	-62%	-60%	-60%	-61%	-61%
結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	出張や仕事場移動時の相乗り利用。												
評価	単月、累積の共に目標値を達成した。												

3) 目標：軽油使用量(リットル)の削減 基準年度比11%削減 2018年度より管理項目に追加

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
基準年度値	55	70	146	165	87	128	56	132	0	185	138	70	1,231
目標値	98	125	260	293	155	228	100	235	0	329	246	124	2,191
原単位実績値	249	188	214	160	97	176	137	106	107	151	170	134	1,891
目標値比(累計)	154%	96%	35%	5%	-2%	-6%	-3%	-11%	-4%	-13%	-15%	-14%	-14%
結果	X	X	X	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	出張や仕事場移動時の相乗り利用。												
評価	単月では、1月、2月、7月、9月、12月で、累積では1月～4月で目標未達となったが、年間目標は達成した。												

二酸化炭素排出量(kg-CO₂)の削減 基準年度比 11%削減

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
基準年度値	16,824	18,242	15,303	15,078	12,673	12,399	19,372
目標値	14,973	16,235	13,620	13,419	11,279	11,035	17,241
実績値(原単位)	19,170	24,620	15,258	16,753	17,107	11,868	12,721
目標値比(累計)	28%	40%	32%	30%	34%	30%	20%
結果	×	×	×	×	×	×	×

項目	8月	9月	10月	11月	12月	累計
基準年度値	19,710	17,102	17,255	14,719	16,058	194,735
目標値	17,542	15,221	15,357	13,100	14,292	173,314
実績値(原単位)	10,463	9,585	11,062	9,558	11,844	170,010
目標値比(累計)	11%	5%	2%	-1%	-2%	-2%
結果	×	×	×	○	○	○
評価	二酸化炭素排出量が前半は単月、累積共に目標未達であったが、ガソリン使用量が大幅に目標達成したこと、及び後半より電力使用量が削減できたことで、累積で目標達成している。累積の目標達成率が低い主要因は、電力の二酸化炭素排出係数が前年度より 20%上昇したため。					

電力の二酸化炭素排出係数：0.374 kg-CO₂/kWh (基準年度)
0.501 kg-CO₂/kWh (2021年度)

2. 廃棄物排出量の適切な管理及び削減

1) 目標：一般廃棄物分別の徹底と使用量削減。

基準値：段ボール 2,640kg/雑誌・本類 1,800kg/燃せるゴミ 2,400kg 2021年度目標：8%削減

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	目標	結果
段ボール	398	1,135	1,585	2,088	2,498	2,770	3,011	3,180	3,600	3,869	4,113	4,383	2,449	×
雑誌・本类等	69	148	186	226	253	274	279	283	298	304	330	341	1,656	○
燃せるごみ	105	210	305	401	460	565	652	686	735	799	836	870	2,208	○
合計	572	1,494	2,075	2,715	3,211	3,609	3,941	4,149	4,633	4,971	5,279	5,593	6,293	○
活動内容	廃棄物分別の順守と排出量削減への意識付け。													
評価	段ボールについては顧客支給案件が増加傾向にあり廃棄量の抑制が難しく、原単位評価で通年を通し、単月・累積でも目標値を大幅に上回った。他の項目では大幅に目標を達成できており、一般廃棄物全体の累積でも8月以降は目標を達成している。													

2) 目標：産業廃棄物分別の月定と使用量削減

基準値(累積)：基準年度比1%削減 (基準年度実績合計値：2018年 21,793kg:2020年目標値見直し)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	評価
汚泥	目標値	0.68	1.36	2.04	2.72	3.40	4.07	4.75	5.43	6.11	6.79	7.47	8.15	○
	実績値 (原単位)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
廃油	目標値	16.5	33.0	49.5	66.0	82.5	98.9	115.4	131.9	148.4	164.9	181.4	197.9	○
	実績値 (原単位)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
混合廃棄物	目標値	12.6	25.2	37.8	50.4	63.1	75.7	88.3	100.9	113.5	126.1	138.7	151.3	○
	実績値 (原単位)	24.1	24.1	48.5	48.5	68.2	68.2	86.5	86.5	103.0	103.0	103.0	119.4	
廃プラスチック類	目標値	611	1,222	1,833	2,444	3,056	3,667	4,278	4,889	5,500	6,111	6,722	7,333	×
	実績値 (原単位)	1,470	1,470	3,010	3,010	4,422	4,422	5,630	5,630	6,820	6,820	6,820	7,851	
木くず	目標値	1,124	2,248	3,373	4,497	5,621	6,745	7,870	8,994	10,118	11,242	12,367	13,491	×
	実績値 (原単位)	0	4,078	8,184	8,184	11,380	11,380	14,420	14,420	14,420	17,186	17,186	17,186	
引火性廃油	目標値	20.4	40.7	61.1	81.5	101.9	122.2	142.6	163.0	183.3	203.7	224.1	244.4	○
	実績値 (原単位)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
引火性廃油(有害)	目標値	2.4	4.9	7.3	9.7	12.1	14.6	17.0	19.4	21.8	24.3	26.7	29.1	○
	実績値 (原単位)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
合計	基準年度値	1,843	3,686	5,530	7,373	9,216	11,059	12,902	14,746	16,589	18,432	20,275	22,118	×
	目標値	1,788	3,576	5,364	7,152	8,940	10,727	12,515	14,303	16,091	17,879	19,667	21,455	
	実績値 (原単位)	1,494	5,572	11,243	11,243	15,871	15,871	20,137	20,137	21,343	24,109	24,109	25,156	
活動内容	廃棄物分別の順守と排出量削減への意識付け。													
評価	2021年度は、汚泥、廃油、引火性廃油の廃棄はなかった。廃プラスチックと木くずは単月・累計の共に通年を通し目標未達となっており、要因として受注形態の変化により、顧客支給品が増えたため、その梱包材である木くず、廃プラスチックの廃棄が増えたことが考えられる。一部は顧客へ返却しているが、更なる引き取り依頼の促進、他の利用方法についての検討をする必要がある。													

5. コピー用紙使用量の適切な管理

目標：コピー用紙購入量（枚）の削減 基準年度比 11%削減(A4 換算)

基準値の変更：製品カタログ作成、引合い・受注件数の増大によるコピー使用量の増加不可避の為

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
基準年度値	20,000	40,000	60,000	80,000	100,000	120,000	140,000	160,000	180,000	200,000	220,000	240,000
目標値	17,800	35,600	53,400	71,200	89,000	106,800	124,600	142,400	160,200	178,000	195,800	213,600
実績値(原単位)	8,000	18,000	31,000	36,000	49,000	57,000	72,000	88,000	98,000	106,000	119,000	124,000
目標値比(累計)	-54%	-40%	-45%	-54%	-53%	-57%	-58%	-58%	-60%	-61%	-61%	-63%
結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	裏紙の利用、両面コピーの徹底、ネットワーク情報の活用による、紙使用の低減など。											
評価	裏紙、両面コピーの徹底、及び帳票類や提出書類の一部の電子化等の紙使用量削減の取組みを行い目標値は達成した。											

(新基準値の設定：年間 240,000 枚 / 2021 年度は新基準値の 11%削減)

4. 水道使用量の適切な管理

取組項目：水道使用量（m³）の管理・抑制 基準値：600 m³/年、2021 年度 8%削減)

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
基準値	50.0	100.0	150.0	200.0	250.0	300.0	350.0	400.0	450.0	500.0	550.0	600.0
目標値	46.0	92.0	138.0	184.0	230.0	276.0	322.0	368.0	414.0	460.0	506.0	552.0
実績値(単位)	38.0	90.5	124.1	154.8	182.2	205.7	224.5	243.7	261.8	284.6	310.9	332.9
結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	節水シールの貼付、およびペットボトルの挿入によりトイレの排水/1回の減水継続。毎週の水道使用量を計測し、異常事態発生の監視継続中。											
評価	使用状況には異常値は認められない。2021 年度目標は達成した。											

5. グリーン購入の推進

取組項目：事務用品グリーン購入の推進

購入品の内グリーン調達代替品なしの品目があるため、活動対象を代替品有り品目に限定

取組項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
比率 目標 95%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
グリーン購入品 ￥	4953	7990	10372	11976	8974	9377	10703	12750	7052	10580	10797	4755	110,279
事務用品全額 ￥	4953	7990	10372	11976	8974	9377	10703	12750	7052	10580	10797	4755	110,279
活動内容	事務用品グリーン購入品目の拡大推進。												
評価	2021 年度はグリーン購入率 100%で目標値は達成した。												

6. 化学物質の適切な管理及び使用量の抑制

取組項目：化学物質の適切な管理、および有害化学物質（ジクロロメタン）使用停止。

取組項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
SU-55(kg)	12	0	0	12	0	0	0	0	0	12	0	0	36
IPA(kg)	0	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42
エアロリス(kg)	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	14
活動内容	化学物質の管理適正化および使用量の抑制。代替品による有害化学物質の使用停止。												
評価	SU-55の使用量は、生産に対して適正範囲で使用。IPAは2021年4月以降は原則購入停止とし代替品のエアロリス（有機則、PRTR対象外）を使用している。												

7. 製品・サービス

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標 kg	55.2	55.2	55.2	55.2	55.2	55.2	55.2	55.2	55.2	55.2	55.2	55.2
目標累計	55.2	110.4	165.6	220.8	276.0	331.2	386.4	441.6	496.8	552.0	607.2	662.4
実績、原単位評価	109.8	13.9	56.2	31.8	92.9	14.3	62.2	8.8	57.0	26.7	56.9	32.9
原単位実績累計	109.8	123.7	180.0	211.8	304.7	319.0	381.2	390.0	447.1	473.8	530.7	563.6
結果	×	△	×	○	×	○	△	○	△	○	△	○
活動内容	梱包材の購入量の計測、目標値の設定による使用量の抑制。											
評価	1月、3月、5月は、単月・累積で目標未達であったが、6月以降より累積で目標達成した。											

目標：環境負荷の少ない梱包 目標値設定による使用量の抑制 （基準値：60kg/月、2021年度8%削減）

— 次年度（2022年度）以降の取組み内容 —

取組項目	次年度の取組み内容
(1) 二酸化炭素排出量の削減	
1) 電力使用量の削減	生産増加見込み → ピークデマンド管理 → 増加抑制。 設備更新時は省エネ設備を検討し導入する。
2) ガソリン使用量の削減	現在の活動を継続する。
(2) 廃棄物排出量の適切な管理及び削減	
1) 一般廃棄物の適切な管理	廃棄物の分別管理を基本とする現在の活動を継続する。
2) 産業廃棄物の適切な管理	
(3) コピー用紙購入量の削減	提出書類の電子化、両面コピーの徹底を継続し、目標達成できるように活動を継続する。
(4) 水道使用量の適切な管理	現在の活動を継続し、進捗を確認しながら目標を達成する。
(5) グリーン購入の推進	代替品が有るものは活用する。2022年度目標(98.0%)を達成する。
(6) 化学物質	化学物質購入量の管理を継続する。
(7) 環境負荷の少ない梱包	自社設計・製造装置類の受注増加により使用量増加している。原単位管理をしていく。

— 環境関連法規等の遵守状況、違反、訴訟の有無 —

No	主要な法規	項目	確認内容	評価
1	廃棄物処理法	一般廃棄物	契約書の確認	○
		産業廃棄物	契約書の確認	○
			マニフェスト管理	○
		特別管理産業廃棄物	契約書の確認	○
			マニフェスト管理	○
2	フロン排出抑制法	第1種特定製品の廃棄	登録書、引渡書の確認	○
		第1種特定製品の簡易点検	点検記録の確認	○
		電動機定格出力 7.5kW 以上の第1種特定製品の定期点検	点検記録の確認	○
3	消防法	防火管理者、消防計画	提出済	○

環境関連法規等の遵守評価を行い、確認の結果、環境関連法規等に関する違反はありません。関係当局による指摘もありません。環境関連に関して苦情の発生・訴訟もありません。

— 代表者による全体評価と見直し記録 —

<p>評価</p>	<p>【環境活動全般について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年は、産業廃棄物廃棄量の削減が年間を通じて未達となり、また、一般廃棄物排出量の削減、及び二酸化炭素排出量の削減も、年度の目標は達成したものの、前半では、ほとんどの月が目標未達となる厳しい結果となった。 ・産業廃棄物では木くず、一般廃棄物では段ボールの排出量増加が未達の主要因で、一時的な製品ミックスの変化により、お客様からの支給品の割合が増加し、梱包材である木材や段ボールの廃棄量が増加したことが主な原因。 対策として、今後、EA21事務局主体で、梱包材の引き取り依頼の拡大や、他の用途への有効活用を検討を行い、廃棄量の削減を図っていくよう指示した。 ・一方、二酸化炭素排出量は、その大部分を占める電力使用量の目標は達成したものの、電力会社の二酸化炭素排出係数が約20%上昇したため、前半で目標未達となった。外部要因であることから対策は難しいが、6月にチラーを省エネタイプに更新したことで今後の電力使用量削減が図れること、及び従来から実施している天井灯や冷暖房の使用抑制等の電力使用量削減活動の徹底を図っていくことで外部要因の変動に対する対応力を強化していく。
<p>見直し</p>	<p>見直し（変更）が必要と判断した項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 環境経営方針の見直し（変更）が必要と判断しました。 <input type="checkbox"/> 環境経営目標、環境経営計画の見直し（変更）が必要と判断しました。 <input type="checkbox"/> 環境経営システム（マニュアル、運用手順等）の見直し（変更）が必要と判断しました。 <input type="checkbox"/> その他、_____の見直し（変更）が必要と判断しました。 <p>見直しの内容（改訂文書名、改定内容 等） 見直しなし。</p>